

事務事業評価調書

担当課	建設水道部	上下水道課	下水道施設係	事務事業No.	14216
事務事業名	合併処理浄化槽設置推進事業				
会計	一般会計	款	4	項	2
				目	1
総合計画	まちづくりのテーマ 第4節 豊かな自然を守り快適に生活できるまち			前期計画掲載頁	89
施策目標	快適な生活環境の形成				
施策項目	下水道の整備と水洗化の促進				
個別計画	大町市生活排水処理基本計画（第2期）				頁
事務事業の目的	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）		
	<ul style="list-style-type: none"> ・快適で暮らしやすい市民生活を提供するために、生活排水を効率的に処理し、住民サービスの均衡、向上を図る 		<ul style="list-style-type: none"> ・市内における生活排水処理は、公共下水道、農業集落排水、浄化槽などそれぞれの地域性にあった処理方式を選択している。集合処理の進まない農村地域や水資源の乏しい山間地域において、快適な生活を守り、住みよい地域を形成するため、浄化槽による個別処理を推進し、環境にやさしい循環型のまちづくりをめざす 		
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・浄化槽法に基づく届け出等事務取扱 ・浄化槽の適正管理の指導及び啓発 ・浄化槽設置補助金交付業務 ・浄化槽管理補助金交付業務 				

【事務事業の実績】

事業費	年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度			
	総事業費（決算額）		80,255,640 円	62,723,540 円	61,716,751 円	達成率			
財源内訳	特定財源		17,066,000 円	11,104,000 円	7,023,000 円	次年度（R3）			
	一般財源		63,189,640 円	51,619,540 円	54,693,751 円	目標値			
活動指標	指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）	
	単位		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	浄化槽設置事業	基	52	33	32	55	58.2%	45
	②	浄化槽管理事業	基	1,623	1,655	1,676	1,674	100.1%	1,695
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）	
	指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	浄化槽区域普及率(B/A)	%	75.9	77.5	78.6	80	98.2%	80
		浄化槽区域計画人口(A)	人	6,906	6,833	6,731	-	-	-
		供用開始区域人口(B)	人	5,241	5,298	5,290	-	-	-
2. 数値で表せない効果		(指標①)							

【事業の評価】

項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
評価	高い	高い	高い	重複なし	高い	適正である	継続	18	
点数	3	3	3	3	3	3			18
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・河川源流域に位置する自治体の責務として、集合処理区域の下水道接続を促進するとともに、個別処理区域の合併処理浄化槽の整備を推進し、公共用水域の水質保全と、市民の快適な生活環境を図るため、必要な事業となる 								

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）
<ul style="list-style-type: none"> ・浄化槽放流水の水質管理は浄化槽法により水質検査が義務付けられ、当市の受検率は約8割あまりであるため、受検率の向上を促し浄化槽の適正管理を推進する必要がある。また、公衆衛生向上のため、個別処理区域内における汚水処理未普及世帯の解消につながる事業推進の必要がある。
改善の方法等（上記の課題をふまへ次年度以降に実施する具体的な改善の内容）
<ul style="list-style-type: none"> ・浄化槽の水質検査の受検率向上と適正な維持管理推進については、行政及び関連機関、大町市浄化槽管理組合が連携し、広報等により改善を図る。 ・国及び県の補助事業を活用した浄化槽設置整備事業により、汚水処理未普及世帯の解消を促す。 ・事業所及び別荘や仁科三湖周辺の高度処理型の浄化槽設置者等に対しては、市独自の上乗せ補助事業を行い、浄化槽の普及促進を図る

事務事業評価調書

担当課	建設水道部	上下水道課	温泉係	事務事業No.	1714107
事務事業名	温泉供給事業				
会計	一般会計	款	7	項	1
				目	4
総合計画	まちづくりのテーマ 第4節 豊かな自然を守り快適に生活できるまち			前期計画掲載頁	80
施策目標	自然と共生した環境の創造				
施策項目	安定した温泉の供給				
個別計画					
事務事業の目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）	
	市の観光振興と市民福祉の向上を図る為。			市の貴重な観光資源として、温泉の有効活用をする。	
主な業務内容	利用者に安定して温泉を供給するため、日常点検を通じて施設を適切に管理し、老朽化の著しい施設は計画的に更新を行う。				

【事務事業の実績】

事業費	年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
	総事業費（決算額）		60,211,971	円	59,611,061	円	35,967,778	円	
財源内訳	特定財源		60,211,971	円	52,651,061	円	35,967,778	円	
	一般財源			円	6,960,000	円		円	
活動指標	指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）	
	単位		実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値	
	①	日常点検	日	244	242	242	242	100.0%	242
	②	温泉郷配湯管更新	m	441	292.5	80	200	40.0%	220
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）	
	指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値	
	①	上原地区供給湯量	ℓ/分	45.0	43.5	43.5	43.5	100.0%	43.5
	②	高瀬分譲地供給湯量	ℓ/分	169.5	168.0	159.0	168.0	94.6%	159.0
	③	温泉郷配湯管更新率	%	57.5	65.1	67.2	70.4	95.5%	73.1
	2. 数値で表せない効果								
(指標①)									

【事業の評価】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化		
	評価	高い	普通	高い	重複なし	高い	適正である		
点数	3	2	3	3	3	3	18		
評価理由	温泉供給事業は、市の観光振興、住民福祉の向上に寄与する重要なものである。 この温泉を利用者が安心して利用できるような適切な維持管理に努めるとともに、老朽施設の適宜更新を進めていく。								

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）
○上原地区と高瀬分譲地へは継続して安定した温泉を供給しているが、高瀬分譲地では前年度に比べ、60(101.5ℓ/分)の温泉利用契約が解約となっている。 ○大町温泉郷では、配湯管の老朽化が著しく、漏湯の発生が多く見られることから、漏湯の解消と安定供給を図るため、配湯管更新事業を令和5年度までの計画で取り組んでいる。
改善の方法等（上記の課題をふまえ次年度以降に実施する具体的な改善の内容）
○高瀬分譲地では契約者の高齢化や相続等に伴い、温泉利用契約の解約が要因となっており、今後、新たな温泉の利活用方法について研究していく。 ○継続して大町温泉郷内の老朽配湯管の更新を実施し、安定供給体制を確保する。

事務事業評価調書

担当課	建設水道部	上下水道課	水道施設・経営係	事務事業No.	122111		
事務事業名	水道施設整備事業						
会計	公営簡易水道事業特別会計	款	2	項	1		
				目	1		
総合計画	まちづくりのテーマ	第4節 豊かな自然を守り快適に生活できるまち			前期計画登載頁	80	頁
	施策目標	自然と共生した環境の創造					
	施策項目	上水道及び公営簡易水道の整備など水資源の保全と活用					
個別計画	大町市水道ビジョン						頁
事務事業の目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）			
	<ul style="list-style-type: none"> ・18か所ある水源の涵養機能の維持 ・老朽管路・施設の計画的更新 			水源水質保全の強化に努め、更新時期を迎える管路・施設の耐震化を促進し、安全な水道水を安定して供給することを目的としている。			
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・水道水源の保全や計画的な水質検査 ・計画的な老朽管路・施設の更新と耐震化の推進 						

【事務事業の実績】

事業費	年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
	総事業費（決算額）		66,100,650	円	57,885,359	円	54,308,720	円	
	財源内訳	特定財源	66,100,650	円	57,885,359	円	54,308,720	円	
一般財源			円		円		円		
活動指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	送配水管布設替	m	760	64	589	600	98.2%	650
	②								
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	耐震化率	%	19.3	19.3	19.7	19.7	100.0%	20.2
	②								
	③								
	2. 数値で表せない効果								
(指標①)									

【事業の評価】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	適正である			
点数	3	3	3	3	2	3	18			
評価理由	施設の保守管理を適正に実施し、老朽水道管の布設替え、電気計装機械の更新等により使用者が安心して水道を使用することができた。									

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）
小規模な水源と配水池等により中山間地に点在する集落への水道水の供給にあたっては、地理的・地形的な条件が厳しい上、管路延長も長く、水道施設の機械・電気・計装設備も数多くある。安心・安全な水道水の安定供給には、必要度や緊急度に応じて計画的な管路の布設替えや計装設備の更新を進める中、水道施設の統廃合等、人口減少時代を踏まえた施設運用が課題である。 給水人口が少なく、施設の維持管理費や建設改良費が割高となり、料金収入のみの経営では厳しいため、現在は一般会計繰入金に依存しているが、国において令和5年度を目途に企業会計への移行が要請されており、今後の簡易水道事業における課題となっている。
改善の方法等（上記の課題をふまえて次年度以降に実施する具体的な改善の内容）
安心・安全な水道水の安定供給を確保するため、計画的な管路の布設替えや計装設備の更新を図り、施設の統廃合や効率的な施設運用を進めるため、市の定住促進施策等とも連携し効率的な事業運営の検討を進める。 企業会計への移行にあたっては、令和元年度に開催された簡易水道審議会において、必要な時期に移行することが望ましいとの答申をいただいております。現在の経営状況や水源・配水池における民地の整備等について精査しながら、庁内関係部署とも調整を図りながら、今後の事業運営について検討していく。

事務事業評価調書

担当課	建設水道部	上下水道課	水道施設・経営係	事務事業No.	401111		
事務事業名	水道事業						
会計	水道事業会計	款	1	項	1		
		目	6				
総合計画	まちづくりのテーマ	第4節 豊かな自然を守り快適に生活できるまち			前期計画登載頁	80	頁
	施策目標	自然と共生した環境の創造					
	施策項目	上水道及び公営簡易水道の整備など水資源の保全と活用					
個別計画	大町市水道ビジョン						頁
事務事業の目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）			
	<ul style="list-style-type: none"> 9か所の水源（予備を含む）の涵養機能の維持 老朽管路、施設の計画的更新 			水源水質保全の強化に努め、更新時期を迎える管路・施設の耐震化を促進し、安全な水道水を安定して供給することを目的としている。			
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> 水道水源の保全や計画的な水質検査 計画的な老朽管路・施設の更新と耐震化の推進 適正な水道料金の賦課・徴収により安定的な運営 						

【事務事業の実績】

事業費	年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	総事業費（決算額）		266,123,090	円	349,001,020	円	252,386,535	円
財源内訳	特定財源		5,852,580	円	6,464,120	円	1,715,182	円
	一般財源		260,270,510	円	342,536,900	円	250,671,353	円

活動指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	送配水管布設延長	m	1,332	1,591	1,081	1,100	98.3%	600
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	管路耐震化率	%	6.6	7.3	7.6	7.7	98.7%	7.8
②								
③								

2. 数値で表せない効果
(指標①)

【事業の評価】

項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
評価	高い	高い	高い	重複なし	高い	適正である	継続	18	
点数	3	3	3	3	3	3			18

評価理由
施設の保守管理を適正に実施し、使用者が安心して水道を使用することができた。送配水管の布設替を5工区で実施、老朽管路の更新と耐震化を図るとともに、南平配水池築造工事を発注し、水道施設の耐震化についても進めている。

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など） 安心・安全な水道水の安定供給を確保するため、水道水源の保全をはじめ、送配水管等の更新や、配水池の改築による水道施設の耐震化を進めることが重要であり、効率的で効果的な施設更新の推進が課題である。
改善の方法等（上記の課題をふまえて次年度以降に実施する具体的な改善の内容） 水源の保全を図るため、水源の調査や改修を行い、また来年度には野生鳥獣の侵入を防ぐ柵の設置等を予定している。水道水の安定供給を図るため、老朽管の布設替工事を今後も実施し、配水池については、南平配水池築造工事を令和2年度に着手し、令和4年2月に完成を予定している。今後は、三日町配水池の改築について計画予定である。

事務事業評価調書

担当課	建設水道部	上下水道課	温泉係	事務事業No.	401111		
事務事業名	温泉引湯事業						
会計	温泉引湯事業会計		款	1	項		
				1	目		
					1		
総合計画	まちづくりのテーマ	第4節 豊かな自然を守り快適に生活できるまち			前期計画掲載頁	80	頁
	施策目標	自然と共生した環境の創造					
	施策項目	安定した温泉の供給					
個別計画							
事務事業の目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）			
	市内の観光、産業振興と地域開発、市民福祉の向上を目的とする。			貴重な地下資源である温泉を供給することにより、市内の観光産業と市民に寄与する。			
主な業務内容	源泉から集めた温泉を上原分湯槽まで、約7.8km引湯し、契約者に温泉を供給する事業で、24時間安定して温泉を供給するため、源泉や引湯施設の適切な維持管理と計画的な更新を行う。						

【事務事業の実績】

事業費	年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
	総事業費（決算額）		16,251,732	円	44,539,000	円	12,551,000	円	
	財源内訳	特定財源	円	円	円	円	円	円	
一般財源		16,251,732	円	44,539,000	円	12,551,000	円		
活動指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値	
	①	供給件数	件	9	8	8	8	100.0%	8
	②	日常点検	日	241	242	242	242	100.0%	242
③	引湯管更新	m	132		96	122	78.7%		
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値	
	①	年間総供給湯量	m ³	577,634	577,094	565,732	574,680	98.4%	561,340
	②	引湯管更新率	%	17.8	17.8	19.0	19.3	98.4%	19.0
	③	自家発電装置更新	基		1				
2. 数値で表せない効果									
（指標③）令和元年度は設置から40年以上経過した中継ポンプ室自家発電装置の更新を、温泉引湯管布設替更新より優先し、実施した。									

【事業の評価】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	普通	高い	重複なし	高い	適正である			
点数	3	2	3	3	3	3	18			
評価理由	温泉引湯事業は、契約者への温泉供給を通じて、地域の観光振興に大きな役割を果たしている。今後も安定した湯量、温度を供給できるよう施設の適正な維持管理と老朽施設の計画的な更新に努めていく。									

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）
<ul style="list-style-type: none"> ○温泉を供給している主要取引先の多くは観光産業の為、コロナ禍の影響により苦しい経営状況に追い込まれ、温泉利用料の支払猶予の申し出や、供給湯量の減量の依頼を受けている。 ○引湯施設は、葛から上原分湯槽までの延長7.8kmの引湯管施設の多くは、公営企業会計法に定める耐用年数を過ぎ更新の時期を迎えているので、引湯管施設の適切な維持管理で延命対策を講じている。
改善の方法等（上記の課題をふまえて次年度以降に実施する具体的な改善の内容）
<ul style="list-style-type: none"> ○温泉利用料（4～6月分・1社）の支払猶予の依頼は、年度内分割納付で承認し、すでに完納している。 ○供給湯量の減量（月25ℓ/分・1社）の申し出を受理し、変更契約したがコロナ禍の影響から回復した折には、減量前の契約に戻ることを望んでいる。 ○温泉の安定供給を確保するため、温泉引湯施設維持修繕計画を策定し、収支均衡を図りつつ優先度の高いところから施設更新を、計画的に進めていく。 ○引湯事業の健全経営を維持し、施設更新の財源を確保のため、適正な料金水準を確保していく。

事務事業評価調書

担当課	建設水道部	上下水道課	下水道施設・経営係	事務事業No.	501213
事務事業名	公共下水道事業				
会計	公共下水道事業会計		款	1	項
				1	目
					1
総合計画	まちづくりのテーマ 第4節 豊かな自然を守り快適に生活できるまち			前期計画掲載頁	89
	施策目標 快適な生活環境の形成				
	施策項目 下水道の整備と水洗化の促進				
個別計画	下水道長寿命化計画				頁
事務事業の目的	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）		
	<ul style="list-style-type: none"> ・快適で暮らしやすい市民生活を提供するために、生活排水を効率的に処理し、住民サービスの均衡、向上を図る。また、近年、多く発生する豪雨に備え、雨水排水処理のための環境整備を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> ・市内における生活排水の処理は、公共下水道、農業集落排水、浄化槽などそれぞれの地域性にあった処理方式を選択している中で、それぞれの施設の特性に応じて、適正な維持管理を行い、今後、訪れる下水道インフラの老朽化に備え、ストックマネジメント計画を作成し、様々な対策を講じていく。 		
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大町浄水センター及び松川浄水苑の安定的な運転管理（包括的民間委託：（公財）長野県下水道公社） ・管渠及び下水道関連施設の整備及び適正な維持管理 ・施設の最適な改築更新、広域化の検討 ・公共下水道、農業集落排水区域外の個別処理に対応した浄化槽設置受付業務及び補助金交付業務の実施 ・下水道接続促進を目的とした広報活動や各処理区における状況把握 ・雨水整備基本計画に基づく、市内雨水管渠施設の整備 				

【事務事業の実績】

事業費	年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	総事業費（決算額）		794,105,219	円	792,874,560	円	757,609,712	円
財源内訳	特定財源		397,849,220	円	338,738,660	円	358,249,918	円
	一般財源		396,255,999	円	454,135,900	円	399,359,794	円

活動指標	指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）
	単位		実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値
①	整備面積・率（公共A=821）		713.3(86.9)	714.8 (87.1)	716.6 (87.3)	714.8 (87.1)	100.3(100.2)	716.6(87.3)
②	整備面積・率（特環A=462.2）		420.1(90.9)	420.2 (90.9)	425.1 (92.0)	420.2(90.9)	101.2(101.2)	425.1(92.0)
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）
	指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値
①	整備率		88.3	88.4	89.0	88.5	100.6%	89.0
②	水洗化率		72.8	74.3	73.7	74.3	99.2%	74.1
③	接続率		63.0	64.4	73.2	64.4	113.7%	73.4
	2. 数値で表せない効果 （指標①）							

【事業の評価】

項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
評価	高い	高い	高い	重複なし	高い	適正である	継続	18	
点数	3	3	3	3	3	3			18
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・生活排水施設は、生活に直結する基幹的なライフラインであり、公共用水域の保全と生活環境の向上に必要な事業であるため、施設の適正な保守管理を行うとともに必要に応じた管渠及び新規公共枮等の整備が必要である 								

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）
<ul style="list-style-type: none"> ・下水道施設に関しては、概ね整備が進み、建設の時代から管理経営の時代を迎えている。人口減少に伴う流入数量の減少や多くの施設を抱えることによる維持管理費の増大など、収支を見据えた健全経営が求められる ・市内における雨水整備に関しては、平成26年度より雨水渠バイパス管整備に着手し、令和元年度に管きょ整備が終了して、流下能力不足箇所が解消された。今後、年々増大する異常降雨にも対応するため、緊急的な浸水被害の低減・解消が急務となっている ・下水道水洗化率は目標値の70%を超えているが他市と比べ低く、高齢世帯での後継ぎの問題や経済的な理由で積極的な接続が進まない状況。
改善の方法等（上記の課題をふまえて次年度以降に実施する具体的な改善の内容）
<ul style="list-style-type: none"> ・下水道事業に関しては、2010年より策定を進めている「水循環・資源循環のみち2015（最新）」市個別構想に基づき、計画的に事業を進める ・市内における雨水整備に関しては、令和3年、県と千曲川水系に係る市町村で取り組むこととした「長野県流域治水推進計画」に基づき、老朽化する雨水排水の対策の推進と、地域住民を含めた一時的な雨水貯留施設整備などの検討を行っていく ・水洗化率の向上への取組みは、引続き住宅リフォーム補助金の活用を促すことや下水道独自の支援策の制度検討など、未接続者の接続促進を図り効率的な事業経営を推進する。

事務事業評価調書

担当課	建設水道部	上下水道課	下水道施設・経営係	事務事業No.	601211	
事務事業名	農業集落排水事業					
会計	農業集落排水事業会計	款	1	項	1	
総合計画	まちづくりのテーマ	第4節 豊かな自然を守り快適に生活できるまち			前期計画登載頁	89
	施策目標	快適な生活環境の形成				
	施策項目	下水道の整備と水洗化の促進				
個別計画	大町市農業集落排水事業最適整備構想				頁	
事務事業の目的	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）			
	<ul style="list-style-type: none"> 快適で暮らしやすい市民生活を提供する中、生活排水に係る利便性、快適性を継続させるため、生活排水施設を整備し、適切に管理運営を行い、安定的な汚水処理事業を継続させる。 		<ul style="list-style-type: none"> 市内における生活排水の処理は、公共下水道、農業集落排水、浄化槽などそれぞれの地域性にあった処理方式を選択している 本事業は、中山間地等の生活排水対策として、急峻な農山農地内や、圃場整備に隣接をする生活圏を処理区域にしており、住民サービスの均衡、向上をめざし、下水処理の地域間格差を解消する 			
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> 農業集落排水処理6施設の適切な運転管理（包括的民間委託：（公財）長野県下水道公社） 管渠及び関連施設の整備及び適正な維持管理 施設の最適な改築更新（令和2年度農業集落排水事業（切久保処理場）機能強化対策工事） 					

【事務事業の実績】

事業費	年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度			
	総事業費（決算額）		66,584,783 円	65,775,494 円	118,599,017 円	達成率			
財源内訳	特定財源		15,868,200 円	15,776,200 円	61,937,600 円				
	一般財源		50,716,583 円	49,999,294 円	56,661,417 円				
活動指標	指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）	
	指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	施設工事件数	件	2	5	2	5	40.0%	5
	②								
③									
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）	
	指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	整備率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0%	100.0
	②	水洗化率	%	92.0	91.0	92.0	92.4	99.6%	92.1
	③	接続率	%	79.9	79.9	91.8	80.1	114.6%	91.9
	2. 数値で表せない効果		(指標①)						

【事業の評価】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	高い	高い	重複なし	高い	適正である			
点数	3	3	3	3	3	3		18		
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> 生活排水施設は、生活に直結する基幹的なライフラインであり、公共用水域の保全と生活環境の向上に必要な事業であるため、施設の適正な保守管理を行うとともに必要に応じた新規公共柵等の整備が必要である 									

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など） <ul style="list-style-type: none"> 農業集落排水処理施設は、社地区の社南部、八坂地区の舟場・野平・切久保・明野・野平南の6処理施設がある。いずれも平成10年頃に整備された施設であるため、少子高齢化に伴う人口減少により、当初計画した処理量を割り込み、運転管理が難しい施設がある 管渠を含めた下水道施設の修繕経費は、年々、増加傾向に転じている
改善の方法等（上記の課題をふまえて次年度以降に実施する具体的な改善の内容） <ul style="list-style-type: none"> 包括的民間委託により、高い知識を持つ県下水道公社へ処理場等の管理委託を行い、効率的かつ安定的な運転管理を行う。また、安定した経営を継続するため、上下水道事業経営審議会等を活用し事業の方向性について検討する 人口減少に伴う効率的な事業運営を目的とした、「広域化・共同化」について、近隣自治体との調整及び検討を続ける